

# トピックス…① 生乳生産者組織の 中長期的課題で検討開始

本会は昨年12月3日に酪農基本問題委員会の初会合を開き、生乳生産者組織の中長期的な課題について検討を開始した。今年2月に最終報告をとりまとめ、本会会長に報告する。

## ● 指定団体、全国連、学経理事13人が委員長に生源寺東大大学院研究科長・農学部長

酪農基本問題委員会については、「中酪情報No523」(昨年9月発行)のスペシャルリポートで紹介しているが、生乳生産基盤の弱体化や牛乳乳製品の消費低迷、乳価形成システムの変化など、日本酪農がかつて経験したことがない急速な変化に対応するため、中酪や指定団体など生乳生産者組織の役割と、その役割を果たすための中長期的な課題を検討する目的で設置した。

委員会の構成メンバーは本会の理事のうち、指定団体、全農、全酪連、学識経験者の13人で構成している。初会合では、委員長に生源寺眞一東京大学大学院研究科長・農学部長、委員長代理に門谷廣茂本会専務をそれぞれ選任。中酪職員で構成するプロジェクトチームがまとめた諸問題①生乳の価格形成、②生乳の需給調整、③生乳の需要拡大、④酪農経営の支援、⑤酪農政策への関与などの原案について内容を議論した。

### 酪農基本問題委員会の委員

砂金甚太郎	本会副会長	全国酪農業協同組合連合会代表理事会長	
村上武久		近畿生乳販売農業協同組合連合会代表理事会長	
成清一臣	本会理事	全国農業協同組合連合会専務理事	
枳穀勝久		ホクレン農業協同組合連合会代表理事副会長	
三浦鉄夫		東北生乳販売農業協同組合連合会代表理事会長	
奥澤捷貴		関東生乳販売農業協同組合連合会代表理事会長	
小玉昭吉		北陸酪農業協同組合連合会代表理事会長	
伊藤敏之		東海酪農業協同組合連合会代表理事会長	
千葉靖代		中国生乳販売農業協同組合連合会代表理事会長	
和田健		四国生乳販売農業協同組合連合会代表理事会長	
尾形文清		九州生乳販売農業協同組合連合会代表理事会長	
生源寺眞一		東京大学大学院農学生命科学研究科長・農学部長	
門谷廣茂		本会専務理事	

## ● 報告書には酪農政策の位置づけ、酪農の将来像を明示 新酪肉近に生産者組織の意見反映目指す

出席した委員からは、酪農政策の位置づけや酪農の将来像を明らかにすべきだとの意見が多く出た。また、原案で示した計画生産数量の個人別生産枠の配分や中長期的な計画生産については、生産現場の実態に即したやり方や、単年度の生乳需給が見通せない中で中長期的な計画生産は難しいなどの意見が出た。さらに、耕畜連携など地域社会とのつながりを求める意見や、実現できない夢の話盛り込んでも酪農家はついてこないなどの意見が出された。

本会は今後、これらの意見を踏まえ、外部の専門家の助言を受けるほか、指定団体・全国連の実務責任者で構成する専門委員会で議論を重ね、今年2月に次回の酪農基本問題委員会を開いて最終報告をとりまとめ、本会会長に報告する予定となっている。

また、本委員会で検討する政策的な部分については、国の酪肉近代化基本方針の見直し作業の状況をみながら、生乳生産者組織として意見反映を目指していくことになった。

